

「2018年第7回村上春樹国際シンポジウム」プログラム

テーマ 村上春樹文学における「共鳴」(sympathy)

期 日：2018年5月26日-28日(3日間)

場 所：淡江大学守謙国際会議センター(新北市淡水区英專路151号)

プログラム(案)0413

一日目 2018年5月26日(土曜日)

0840-0900	受付
0900-0920	開幕式(有蓮庁) 司会者 小林 由紀(東呉大学兼任助理教授) 張 家宜(淡江大学学長) 松原 一樹(日本台湾交流協会新聞文化部長) 賴 振南(台湾日本語文学会理事長)
0920-1010	基調講演(1)(有蓮庁) 司会者 賴 振南(輔仁大学教授兼外国語学部部長・台湾日本語文学会理事長) 演講者 中村 三春(北海道大学教授) 講 題 「壁」は越えられるか—村上春樹の文学における〈共鳴〉—
1010-1025	ティータイム
1025-1115	基調講演(2)(有蓮庁) 司会者 賴 錦雀(東呉大学教授) 演講者 金水 敏(大阪大学教授) 講 題 『騎士団長殺し』騎士団長の「あらない」再考
1115-1205	基調講演(3)(有蓮庁) 司会者 落合 由治(淡江大学教授兼村上春樹研究センター副主任) 演講者 Matthew Strecher(上智大学教授) 講 題 村上春樹文学における共鳴・『騎士団長殺し』と神聖な「旅」
1205-1300	昼食・ポスター論文発表
1210-1300	論文ポスター発表(黄憲堂老師紀念廳 HC107) コメンテーター 楊 琇媚(南台科技大学副教授) 発表者①：王 薇婷(広島大学博士) 題 目：村上春樹文学における「共鳴」—「かえるくん、東京を救う」を中心に— 発表者②：陳 易湘(淡江大学修士課程) 題 目：文化記号論から見た『騎士団長殺し』における「くるま」への共鳴 発表者③：童 曼禎(淡江大学修士課程) 題 目：女性の生き方への「共鳴」—『騎士団長殺し』から見て— 発表者④：盧 亞屏(淡江大学修士課程) 題 目：村上春樹文学における酒の「共鳴」 発表者⑤：陳 琬渝(台湾大学修士課程) 題 目：村上春樹『騎士団長殺し』における暴力—『白いスバル・フォレストの男』から考える—
1310-1420	アジア初村上春樹映画鑑賞会(有蓮庁) 司会者 Zielinska-Elliott Anna(ボストン大学上級講師) 発表者 Mette Holm(デンマーク著名村上春樹文学翻訳者) 映画名 村上春樹の夢(Dreaming Murakami)

1420-1430	ティータイム			
1430-1630	パネルディスカッション テーマ 『騎士団長殺し』をめぐる読み・翻訳の事情			
	パネリスト兼司会者 曾 秋桂(淡江大学教授兼日本語学科主任、村上春樹研究センター主任、台湾日本語教育学会理事長)			
	パネリスト①	中村 三春(北海道大学教授)		
	パネリスト②	金水 敏(大阪大学教授)		
	パネリスト③	Matthew Strecher(上智大学教授)		
	パネリスト④	高橋 龍夫(専修大学教授)		
	パネリスト⑤	Anna Zielinska-Elliott (アメリカ・ボストン大学講師、村上春樹ポーランド語版著名翻訳者)		
	パネリスト⑥	Mette Holm(デンマーク著名村上春樹文学翻訳者)		
	パネリスト⑦	頼 明珠(華語繁体版台湾著名村上春樹文学翻訳者)		
	パネリスト⑧	盧 明姫(韓国東国大学校教授)		
	パネリスト⑨	葉 蕙(マレーシア著名村上春樹文学翻訳者)		
1700-1830	懇親会(台湾伝統テーブル料理、大脚印複合餐廳・新北市淡水區學府路 68 號)			
二日目 2018年5月27日(日曜日)				
	論文口頭発表(1)			
0930-1035	第1セッション	第2セッション	第3セッション	第4セッション
0930-0935	HC305	HC306	HC307	HC303
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	盧 明姫 韓国東国大学校 教授	彭 春陽 淡江大学 副教授	内田 康 淡江大学 副教授	高橋 龍夫 専修大学 教授
0935-0955	発表者1	発表者3	発表者5	発表者7
	頼 錦雀 東呉大学 教授	大村 梓 山梨県立大学 講師	趙 柱喜 瑞逸大学 兼任教授	小島 基洋 京都大学 准教授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	紀行文から見た村上春樹の旅先での共鳴—『ラオスにいったい何があるというんですか』を中心に—	翻訳に現れる「僕」と「鼠」の物語：英訳 Pinball, 1973	村上春樹文学と戦争表象	魂の共鳴—村上春樹作品における「生き霊」をめぐる—
0955-1005	質疑応答			
1005-1025	発表者2	発表者4	発表者6	発表者8
	落合 由治 淡江大学 教授	山根 由美恵 広島国際大学 非常勤講師	平野 葵 北海道大学 博士後期課程3年	李 娟 立命館大学 博士後期課程
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	長編小説の語りにおける村上春樹作品の共鳴	村上春樹「アンダーグラウンド」との〈共鳴〉—地下鉄サリン事件を	危機的状況と〈共鳴〉—村上春樹「恋するザムザ」とプラハの春—	村上春樹「中国行きのスロウ・ボート」における共鳴

		めぐる文学—		
1025-1035	質疑応答			
1035-1045	ティータイム			
	論文口頭発表(2)			
1045-1150	第5セッション	第6セッション	第7セッション	第8セッション
1045-1050	HC305	HC306	HC307	HC303
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	邱 若山 静宜大学 教授	范 淑文 台湾大学 教授	黄 翠娥 輔仁大学 教授	周 玉慧 中央研究院 研究員
1050-1110	発表者 9	発表者 11	発表者 13	発表者 15
	王 佑心 銘伝大学 副教授	曾 秋桂 淡江大学 教授	齋藤 正志 中国文化大学 副教授	阿部 翔太 広島大学 博士課程前期
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	村上春樹の初期作品における「共鳴」(sympathy)—「一目ぼれ」に注目して—	『騎士団長殺し』における絵画への「共鳴」—小田原滞在中の四つの作品を中心に—	偶然の共鳴—『ノルウェイの森』と『万葉集』—	〈音楽〉を奏でる者たち—『ノルウェイの森』における「共鳴」—
1110-1120	質疑応答			
1120-1140	発表者 10	発表者 12	発表者 14	発表者 16
	袁 嘉孜 北海道大学 修士課程二年	王 静 名古屋大学 博士研究員	高橋 龍夫 専修大学 教授	野田 晃生 筑波大学大学院
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	村上春樹世界における共鳴—〈初期三部作〉から『1Q84』までの登場人物たちをめぐって—	村上作品における魂の共鳴を問う—『騎士団長殺し』の肖像画にある魂をめぐって—	「騎士団長殺し」における記憶と展望—共鳴する 21 世紀の物語—	『ノルウェイの森』における共鳴
1140-1150	質疑応答			
1150-1300	昼食			
	論文口頭発表(3)			
1300-1405	第9セッション	第10セッション	第11セッション	第12セッション
1300-1305	HC305	HC306	HC307	HC303
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	鄒 波 復旦大学 副教授	小澤 自然 淡江大学 副教授	齋藤 正志 中国文化大学 副教授	頼 雲莊 東吳大学 副教授
1305-1325	発表者 17	発表者 19	発表者 21	発表者 23
	三宅 香帆 京都大学 博士課程後期	許 哲瑋 University of Jyväskylä Master' s	山崎 眞紀子 日本大学 教授	大岡 愛梨沙 ノートルダム清心大学 修士課程一年生

		Student		
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	『羊をめぐる冒険』における喪失の共鳴	The Spatial Narrative in Norwegian Wood: Sexuality, Body and Mutual Sympathy of Subjectivity	村上春樹文学における共鳴—ハツミ、ユズ、そしてトニー滝谷—	『海辺のカフカ』における〈暴力〉と〈癒し〉—カフカ・漱石・プラトンの〈共鳴〉にふれて—
1325-1335	質疑応答			
1335-1355	発表者 18	発表者 20	発表者 22	発表者 24
	米村 みゆき 専修大学 教授	余 盛延 台北科技大学 教授	堀口 真利子 長岡工業高等専門学校	王 嘉臨 淡江大学 副教授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	〈ドキュメンタリー・ノベル〉としての『騎士団長殺し』—不可視と共感の交錯—	“It Is My Turn to Weave Dreams for Others”: Hajime’s Sympathy, Nostalgia, and Existential Transformation in South of the Border, West of the Sun	村上春樹『騎士団長殺し』論—免色渉と騎士団長を中心に—	村上作品における性的マイノリティについての意識—『海辺のカフカ』を中心に—
1355-1405	質疑応答			
1405-1415	ティータイム			
	論文口頭発表(4)			
1415-1520	第 13 セッション	第 14 セッション	第 15 セッション	第 16 セッション
1415-1420	HC305	HC306	HC307	HC303
	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター	コメンテーター
	黄 如萍 高雄餐旅大学 副教授	米村 みゆき 専修大学 教授	小林 由紀 東呉大学 兼任助理教授	廖 秀娟 元智大学 副教授
1420-1440	発表者 25	発表者 27	発表者 29	発表者 31
	荻原 桂子 九州女子大学 教授	范 淑文 台湾大学 教授	Zielinska-Elliott Anna ボストン大学 上級講師	奥田 浩司 愛知教育大学 准教授
	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	村上春樹『海辺のカフカ』論	「神の子どもたちはみな踊る」試論—主人公たちの共鳴の有り方—	テキストに共鳴—『騎士団長殺し』	『騎士団長殺し』とホロコースト
1440-1450	質疑応答			
1450-1510	発表者 26	発表者 28	発表者 30	発表者 32
	飯干 大嵩 専修大学大学院 修士二年	星野 智之 (株)青い星通信社 専職作家	Dalmi Katalin 広島大学 職員	浅利 文子 法政大学 兼任講師

	テーマ	テーマ	テーマ	テーマ
	『色彩を持たない多崎つくと、彼の巡礼の年』論—「巡礼者」としての多崎つくる—	『1Q84』と死海文書の連関から辿る共鳴の発見	ハンガリー人読者の「共鳴」する村上春樹の物語について	『騎士団長殺し』—「山上の家」における魂と魂の共振—
1510-1520	質疑応答			
1520-1530	ティータイム			
	論文口頭発表(5)			
1530-1605	第17セッション	第18セッション		
1530-1535	HC305	HC306		
	コメンテーター	コメンテーター		
	王 佑心 銘伝大学 副教授	李 偉煌 静宜大学 副教授兼主任		
1535-1555	発表者 33	発表者 34		
	鄒 波 復旦大学 副教授	葉 菱 淡江大学 助理教授		
	テーマ	テーマ		
	村上春樹と安部公房— 文学の共鳴と振幅—	村上春樹『騎士団長殺し』における地震と自然		
1555-1605	質疑応答			
1605-1615	ティータイム			
1615-1625	司会者 曾 秋桂(淡江大学教授・村上春樹研究センター主任) 1. 「2019年第8回村上春樹シンポジウム」の開催日と開催地の紹介 2. 「2019年第8回村上春樹シンポジウム」メインテーマの説明			
1625-1635	閉幕式 曾 秋桂(淡江大学教授・村上春樹研究中心主任)			
1635-1800	晚餐会(バイキング方式)			
0900-1700	三日目 2018年5月28日(月曜日)			
	淡水風土と文学見学			

主催者 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語学科

助成者 行政院科技部

後援者 日本台湾交流協会・淡江大学出版センター・台湾日本語文学会・台湾日語教育学会・日本比較文化学会・致良出版社・瑞蘭国際出版・淡江大学日本語学科OB会

申し込みサイト

<https://goo.gl/forms/dUJFH5VFcDJmMNvY2>

問い合わせ

陳易湘助理 centrino067@gmail.com 携帯 0975-758-390

淡江大学村上春樹研究センター事務局電話 +886-2-2621-5656 内線 2958/3590